

2025年12月期 決算説明資料

2026年2月4日
GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 ビジョン・戦略
- 04 Appendix

全体サマリー

FY25	業績	<ul style="list-style-type: none">店頭FX・CFD・暗号資産の減収により、営業収益は前期比7%減営業利益・最終利益は過去最高を更新。最終利益は100億円超えを達成
	事業	<ul style="list-style-type: none">FXは取引人数、預り証拠金残高は堅調に推移CFDは商品市場の活況を背景に、Q4'25の売買代金・収益は大きく増加保険分野参入に向け、LASHIC少額短期保険の全株式取得を決議※1医療プラットフォーム事業で、12月にAI搭載クラウド電子カルテを提供開始新会社で、12月に統合IDプラットフォームを目指した新規事業を開始
	株主還元	<ul style="list-style-type: none">2025年12月期より株主還元を強化（目標配当性向65%以上）Q4'25は1株当たり8.48円。年57.58円（配当性向65%）と過去最高
	トピック	<ul style="list-style-type: none">GMOコインが東京証券取引所への上場準備を推進（上場時期等未定）※2
FY26	株主還元	<ul style="list-style-type: none">2026年12月期は、目標配当性向65%以上 + DOE（連結株主資本配当率）10%を下限指標として設定

※1 株式譲渡の実行は、関係当局の承認を得たうえで2026年 Q1内を予定しています。

※2 株式上場は関係当局の承認が前提です。また、株式上場の準備過程における検討の結果次第では、株式上場を延期する可能性や株式上場をしないといった結論に至る可能性もあります。

そのため、現時点では上場予定期間等は未定です。本記載内容は、日本国内外を問わず投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

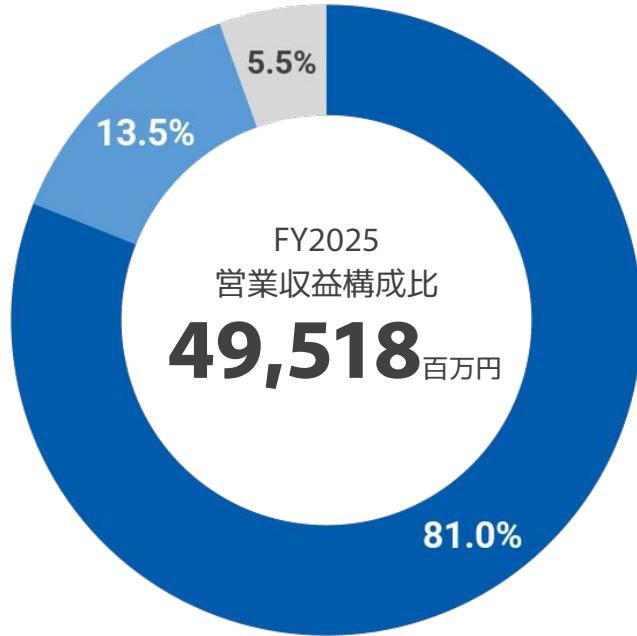
FY2025 | 決算サマリー（前期比）

営業利益・最終利益は過去最高を更新

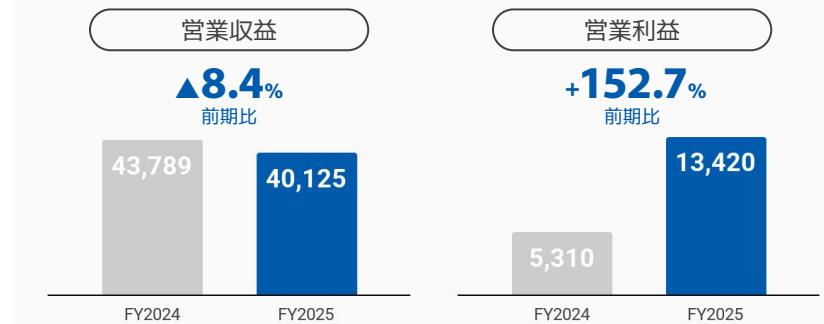
(百万円)	FY2024	FY2025	Y/Y	
			増減額	増減率
営業収益	53,269	49,518	▲3,751	▲7.0%
純営業収益	49,193	45,587	▲3,605	▲7.3%
営業利益	8,926	15,866	+6,940	+77.8%
経常利益	8,433	15,257	+6,824	+80.9%
最終利益	4,745	10,448	+5,703	+120.2%

FY2025 | セグメント別の状況（前期比）

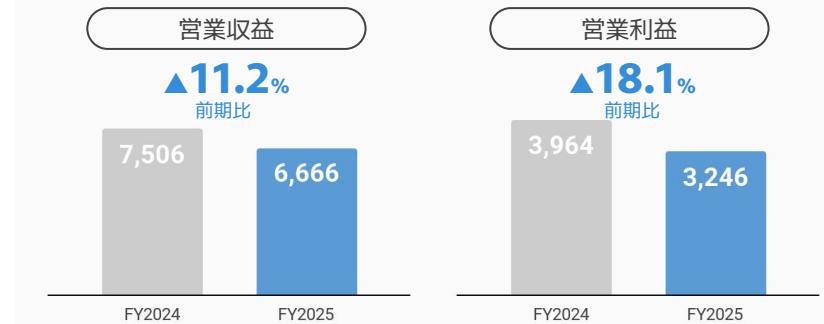
● 証券・FX事業 ● 暗号資産事業 ● その他



■ 証券・FX事業 (単位：百万円)

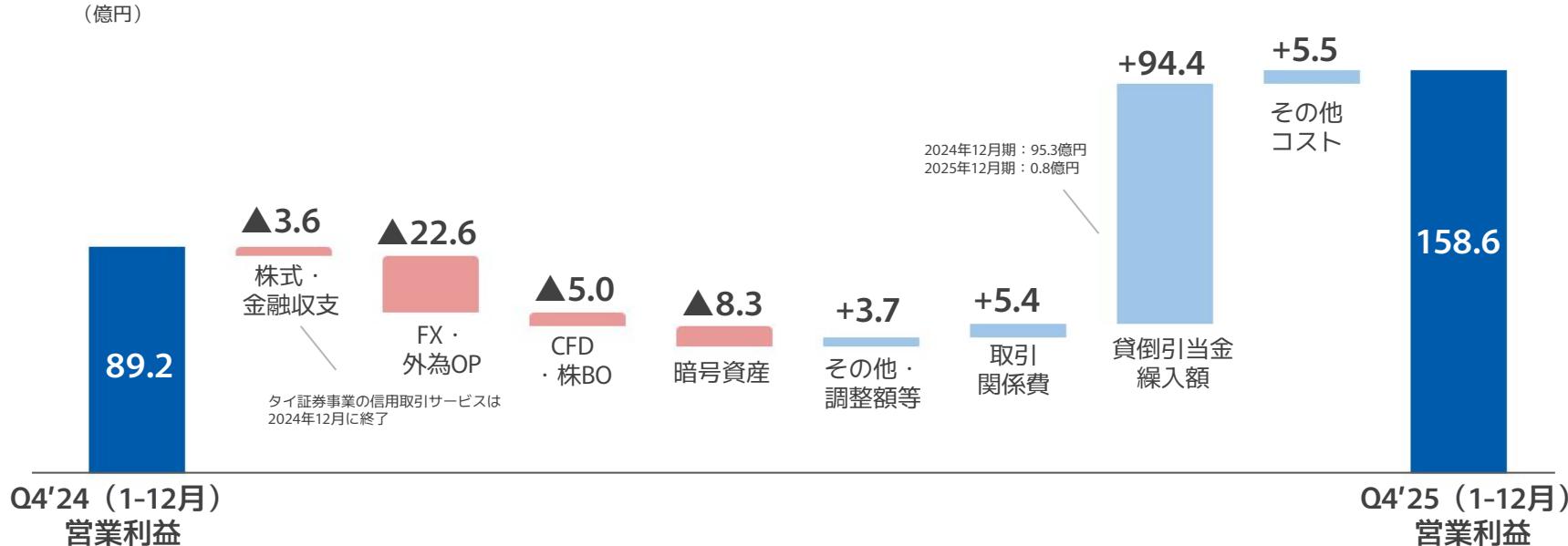


■ 暗号資産事業 (単位：百万円)



FY2025 | 営業利益増減（前期比）

FX・暗号資産とともに年後半のレンジ相場を受けた収益性の低下に伴い減収も、
大幅な増益により過去最高の営業利益を更新
(前期はタイ証券事業等に係る貸倒引当金繰入額約95億円を計上)



タイ証券事業 | 約定弁済契約に基づく債権残高の状況

約定弁済契約に基づく債権残高は、返済により2025年1月時点の約110億円から約79億円に
(円安の影響により円建ではQ3比で約4億円の増加も、タイバーツ建では約58百万THBの減少)

■ 全債権・担保の状況

項目		(単位：百万円)	
残高		約定弁済契約債権* 7,938	その他不良債権 18,845
担保の状況	株式	11,952	—
	不動産	4,365	—
	社債	805	—
	合計	17,123	—
保全率		215.7%	—
貸倒引当金		747	18,845
貸倒引当金の計上方法	延滞の有無に関わらず、債務者ごとに貸付残高から担保評価額を控除した金額を計上		
担保の評価方法	<ul style="list-style-type: none">・ 株式：期末株価に担保株式数を乗じたもの・ 不動産：SEC登録の不動産鑑定士による鑑定評価に一定の掛け目を乗じたもの・ その他：額面		
最大リスク額（約定弁済契約残高-約定弁済契約の貸倒引当金+その他不良債権の担保額）	7,191		

* 約定弁済契約債権の一部には、破産更生債権等及び貸倒懸念債権に区分される債権が含まれています。

■ 約定弁済契約債権の保全率ごとの残高

保全率	残高	貸倒引当金
0～100%	1,479	519
100%～150%	970	228
150%～200%	—	—
200%～	5,488	—
合計	7,938	747

※ 円表記の各数値：2025年12月31日時点のレートで円換算

<参考情報>

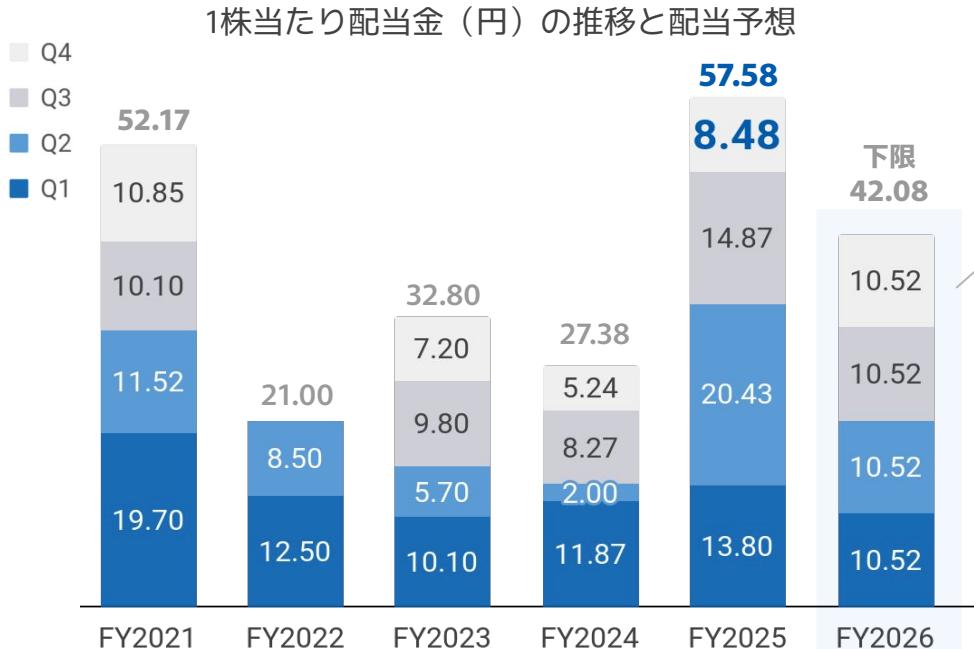
過去2事業年度に実施した担保株式の強制処分時における株価の下落率
・ 最大値 ▲79.3% ・ 平均値 ▲47.0% ・ 最小値 ▲11.4%

■ 約定弁済契約債権の回収計画について

- **2025年中に5名が完済し、約定弁済契約を締結している相手方は15名から10名に減少**
- 約定弁済契約に従い回収を行い、**2026年中に債権元本全体の9割以上を回収する計画**

株主還元 | 配当

Q4'25の1株当たり配当金は8.48円、年間は過去最高の57.58円に
2026年12月期は「DOE10%」導入に伴い、年42.08円を下限とし四半期ごとに配当を実施



2026年12月期 配当予想（下限）

**年42.08円
(四半期10.52円)**

- DOE10%の下限指標を導入
- 1株当たり配当金の下限を年42.08円とし、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向65%以上を目処に、四半期ごとに配当を実施

※ 前期末の連結株主資本に対して10%を乗じた金額を元に算出

Q4'25 (10-12月) | マーケット環境

株式市場は活況も、外国為替市場はドル/円を中心にボラティリティが低下

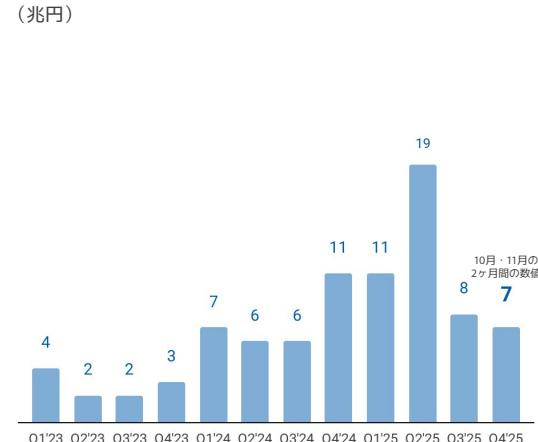
2市場個人株式等委託売買代金



国内店頭FX取引高



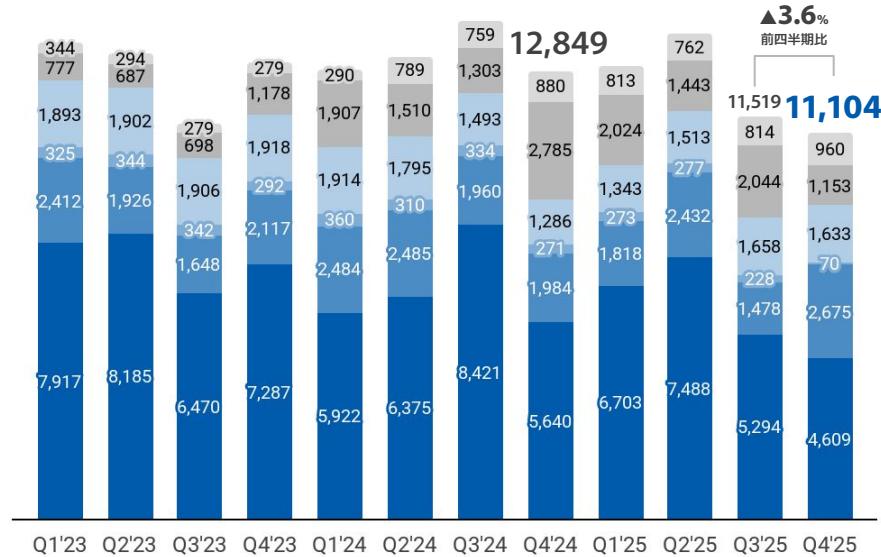
国内暗号資産売買代金



四半期業績推移 | 営業収益（セグメント別/商品別）

(百万円)

■ その他 ■ 暗号資産 ■ 金融収益 ■ 株式等 ■ CFD・株BO ■ FX・外為OP

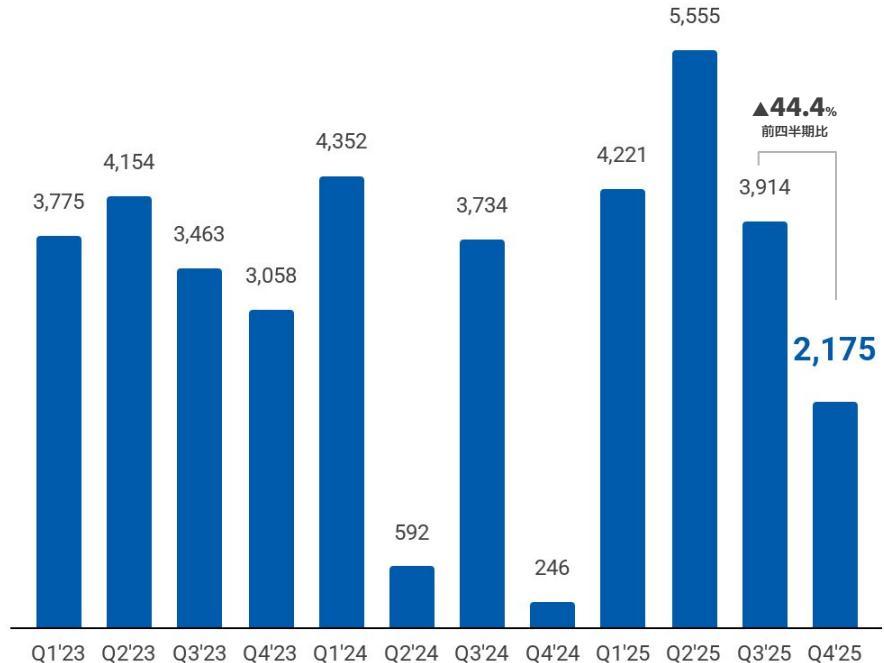


▲13.6%
前年同期比

Q4'25はCFD収益が伸長した一方、
FX収益や暗号資産収益が減少

四半期業績推移 | 営業利益

(百万円)



+781.0%

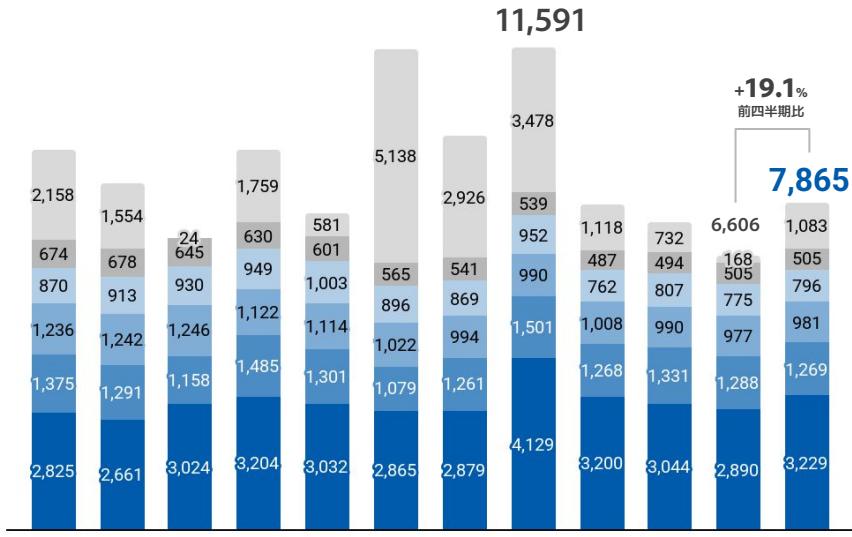
前年同期比

前年同期比では販管費減少により増益
前四半期比ではFX・暗号資産収益が
減少し減益

四半期業績推移 | 販売費及び一般管理費

(百万円)

その他 減価償却費 事務費 不動産関係費 人件費 取引関係費



▲32.1%

前年同期比

貸倒引当金繰入額を控除すると
75億円前後で推移

Q1'26の見通し：約81億円

証券・FX事業 : 約65億円程度
暗号資産事業 : 約9億円程度
その他 : 約7億円程度

※見通しには貸倒引当金繰入額は含まない。

貸倒引当金 繰入額	15.4億円	9.1億円	▲5.3億円	12.0億円	0.0億円	45.0億円	21.9億円	28.3億円	4.0億円	▲0.0億円	▲5.9億円	2.9億円
貸引控除後 販管費	75.9億円	74.2億円	75.6億円	79.5億円	76.3億円	70.6億円	72.8億円	87.5億円	74.4億円	74.1億円	72.0億円	75.7億円

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 ビジョン・戦略
- 04 Appendix

2025年12月期の方針・取り組み

方針：強いものをより強くする

FX

- 競争優位性を高めるためのサービスの利便性向上
- マーケティング強化による顧客層の拡大

CFD

- 証券取引・FX取引からのクロスセル率のさらなる向上
- 商品認知度向上に向けたマーケティング戦略の見直し

暗号資産

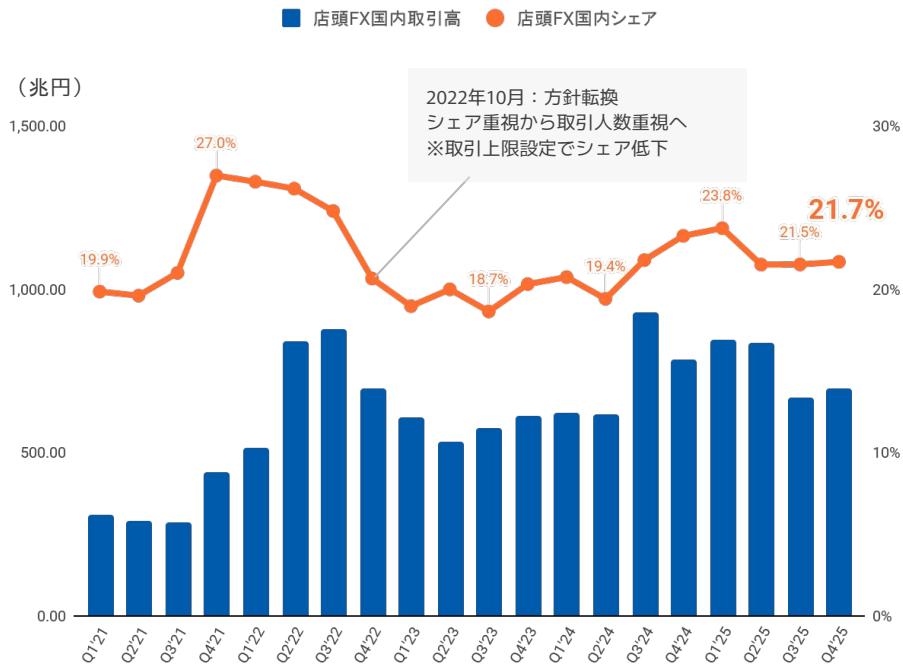
- ストック型商品（ステーキング・貸暗号資産）の強化による収益安定化
- 法人向け・VIP向けサービスの強化

新規

- バーチャルオフィス事業の顧客基盤拡大（拠点拡大・新サービス提供）
- 医療プラットフォーム事業の立ち上げを加速

店頭FX | 国内取引高シェアの推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン



Q4'25取引高シェア

21.7%

方針変更以降は緩やかな
上昇トレンド

金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

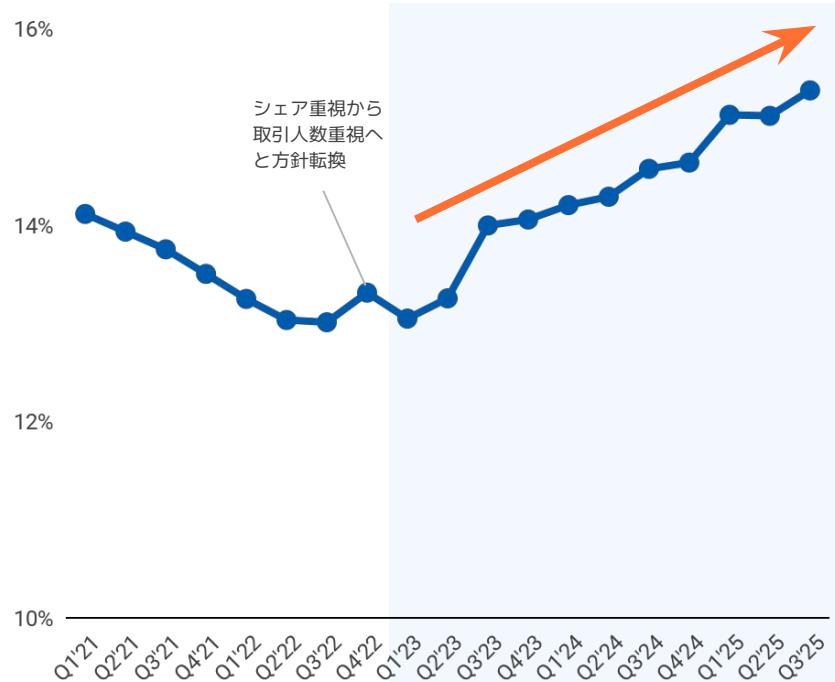
※ 店頭FX国内取引高：GMO外貨のグループジョイント前の2021年9月まではGMOクリック証券とFXプライムbyGMO2社の数値

(FXプライムbyGMOは2023年9月にGMOコインと合併)

※ 店頭FX国内シェア：金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出

店頭FX | 取引人数（QAU）シェアの推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン



Q3'25 QAUシェア

15%超

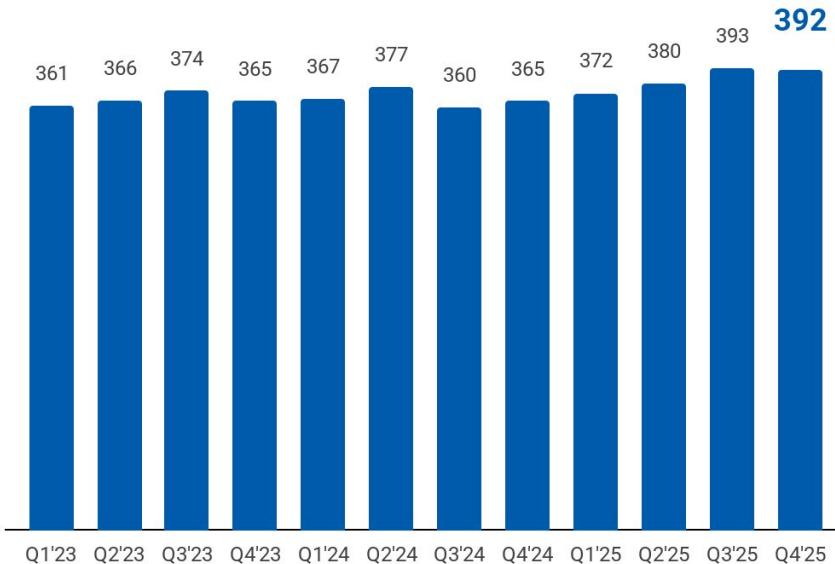
サービスの利便性・取引条件の向上により
競争優位性を確保し、取引人数は堅調に推移
マーケティング強化を通じ、サービス優位性の
さらなる浸透を図る

GMOクリック証券・GMO外貨・GMOコイン3社における四半期でのユニーク取引人数のシェア
金融先物取引業協会公表資料より当社作成
※GMOコインの数値を修正（2026年2月4日）

店頭FX | 預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン

(10億円)



+7.4%

前年同期末比

堅調に推移

2023年9月1日付でGMOコインとFXプライムbyGMOが合併
Q2'23まではFXプライムbyGMOの数値、Q3'23以降はGMOコインの数値

CFD | 売買代金・収益の推移

GMOクリック証券



売買代金

+123.7%

前年同期比

収益

+33.8%

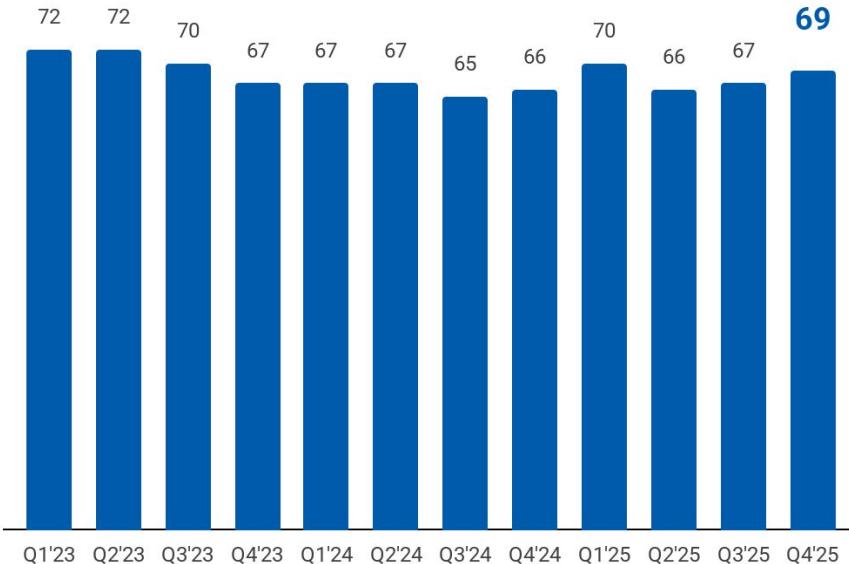
前年同期比

金・銀など商品市場の活況を背景に
収益・売買代金が大きく増加
今後もクロスセル推進で拡大を図る

CFD | 預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券

(10億円)



+3.6%

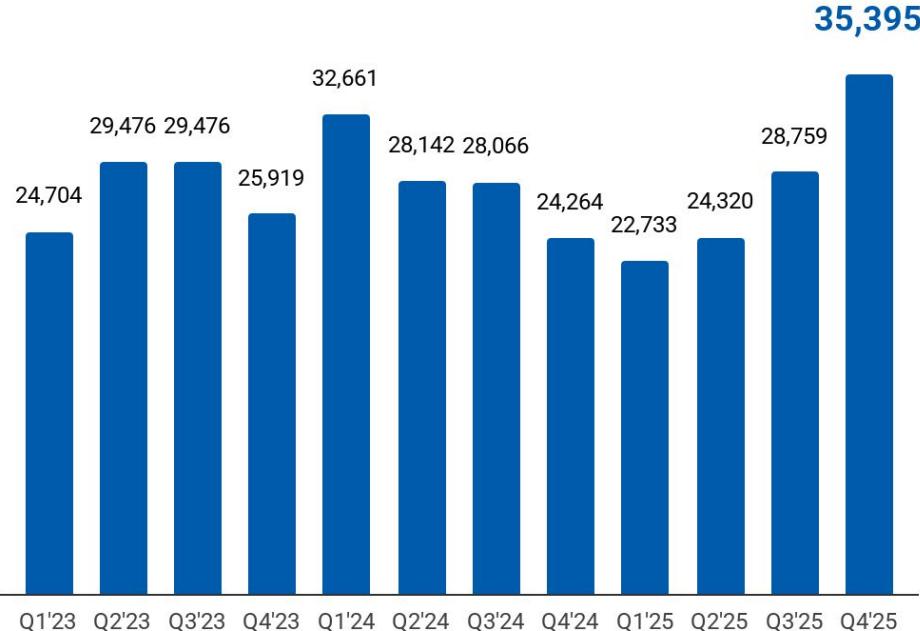
前年同期末比

商品市場を中心に活況な相場を受け
預り証拠金残高も増加
持続的な拡大が継続課題

株式 | 株式売買代金の推移

(億円)

GMOクリック証券



+45.9%

前年同期比



設立20周年を前に原点回帰し
2025年9月1日から株式手数料を完全無料化※
相場の活況もあり売買代金は大きく増加

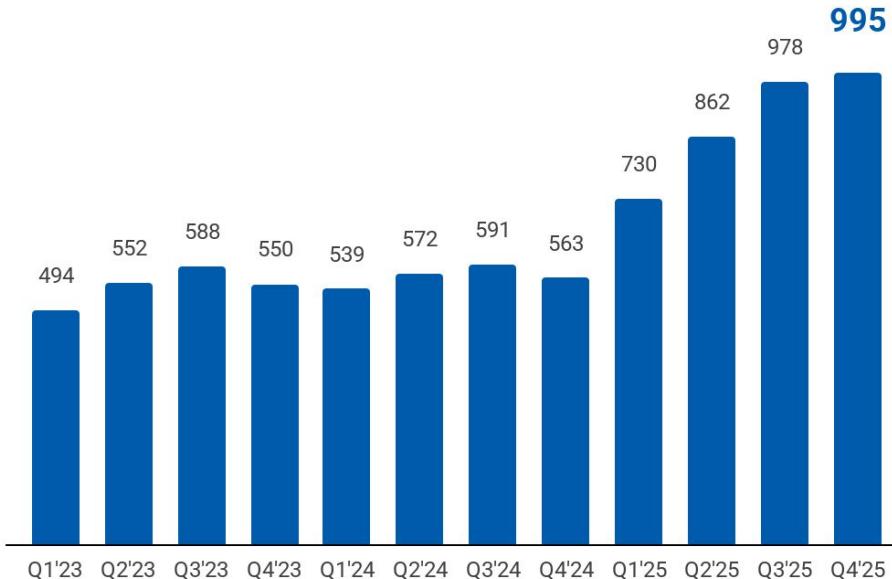
Q4'25売買代金シェア：1.4%
(Q3'25 : 1.4%)

※電話注文を除く

株式 | 金融収支の推移

(百万円)

GMOクリック証券



+76.5%

前年同期比

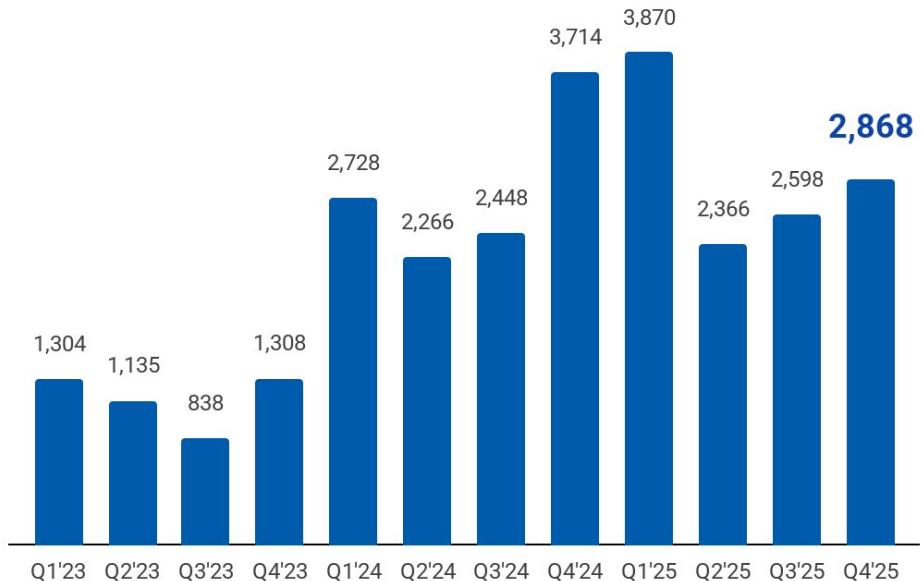
金利上昇により
顧客分別金信託の運用益が増加

(参考) 運用益増加による金融収益の増加額
前年同期比+4.9億円

暗号資産 | 売買代金の推移

(10億円)

GMOコイン



▲22.8%
前年同期比

Q4'25の売買代金は
10月のビットコイン最高値更新後に
市場全体が大きく下落し
前年同期比で減少

暗号資産 | 口座数と顧客預り資産の推移

GMOコイン



口座数

+8.0万口座

前年同期末比

顧客預り資産

▲8.6%

前年同期末比

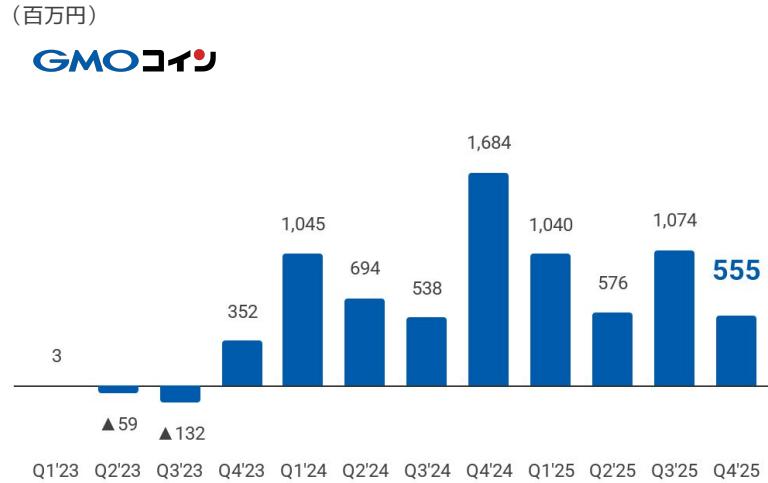
暗号資産 | セグメント収益・利益の推移

Q4はレンジ相場を受けた収益性の低下により減収減益
引き続きストック型サービス強化で安定的な利益拡大を図る

暗号資産セグメント収益の推移



暗号資産セグメント利益の推移

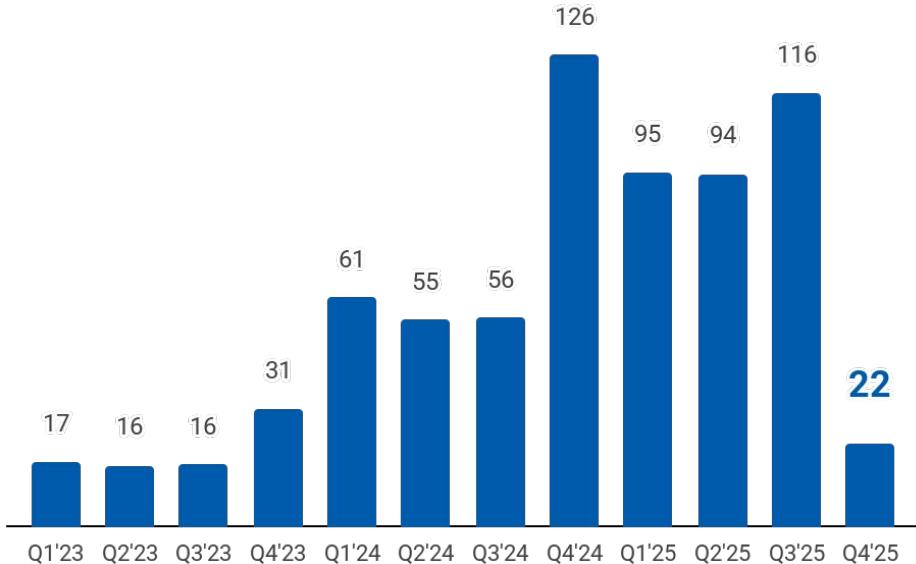


※2022年10月からこれまで営業収益のトレーディング損益に含めていた為替ヘッジ取引に伴う損益を営業外損益に計上（当該組み替えによる、Q1～Q3'22の期間における増収分約8.7億円を、Q4'22に一括計上）

暗号資産 | ステーキング収益

(百万円)

GMOコイン



▲82.4%

前年同期末比

Q4'25のステーキング収益は
特殊要因により大幅減も、
預り数量はQ3'25と同水準を維持
今後さらなる成長を図る

バーチャルオフィス | ユーザー数の推移

(万ユーザー)

GMOオフィスサポート

全国 19ヶ所

中部・関西

名古屋
大阪・梅田
大阪・心斎橋
京都
神戸

関東

渋谷 恵比寿
新宿 銀座
青山 秋葉原
三軒茶屋
池袋 目黒
六本木 上野
横浜



九州
福岡・博多
福岡・天神



累計ユーザー数

+1.5万ユーザー

前年同期末比

オフィス拡大とサービス拡充で
顧客基盤は順調に拡大
付帯サービス強化によりARPU向上を図る

医療プラットフォーム | クラウド電子カルテ提供開始



2025年12月4日リリース

AI搭載レセコン一体型 クラウド電子カルテ



診察中の会話の自動書き起こしや
カルテ入力をAIがサポートし診察業務を効率化

LASHIC 少額短期保険株式会社

2025年12月8日
全株式取得を決議

関係当局の承認を得たうえで
2026年Q1内に株式譲渡を実行予定

保険分野への
新規参入に向けた
仲間づくりを推進

ユーザーと企業をつなぐ**ID統合プラットフォーム**を目指して

ひとつのIDで会社・ブランドの枠を超えて、サービス横断で使える

共通ID「1アカウント」（ワン・アカウント）を2025年12月より提供開始

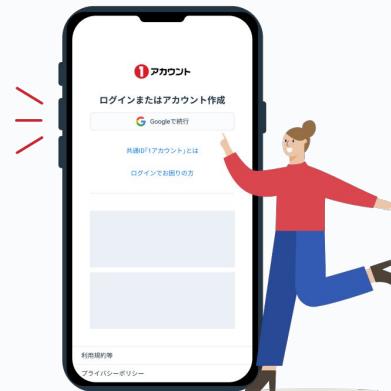
ユーザー



ログインIDをひとつに
便利でおトクなユーザーエクスペリエンス

- 会員登録・ログインが簡単・便利
- 更新情報はサービス間で自動連携（開発中）
- Googleログイン認証の採用でセキュアなID
- ためたポイントは金貨などに交換可能

1 アカウント



連携企業



集客・ID管理など
事業開発・運営を効率化

- 広告主の増加・チャネル多様化により顧客獲得競争が激化する中、プラットフォーム上の相互送客による顧客獲得機会の提供
- セキュアな認証基盤提供でID管理・運用を効率化

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 ビジョン・戦略
- 04 Appendix

持続的成長に向けて

テクノロジー活用余地が大きく成長性の高い分野に積極的に投資
「No.1プラットフォーム」を創出し、持続的成長を目指す

事業ポートフォリオの多角化

GMOクリック証券
GMO外貨 GMOコイン

主力事業の収益最大化

シナジー発揮と経営効率を追求
圧倒的な顧客基盤を構築し
成長原資を創出

GMOオフィスサポート

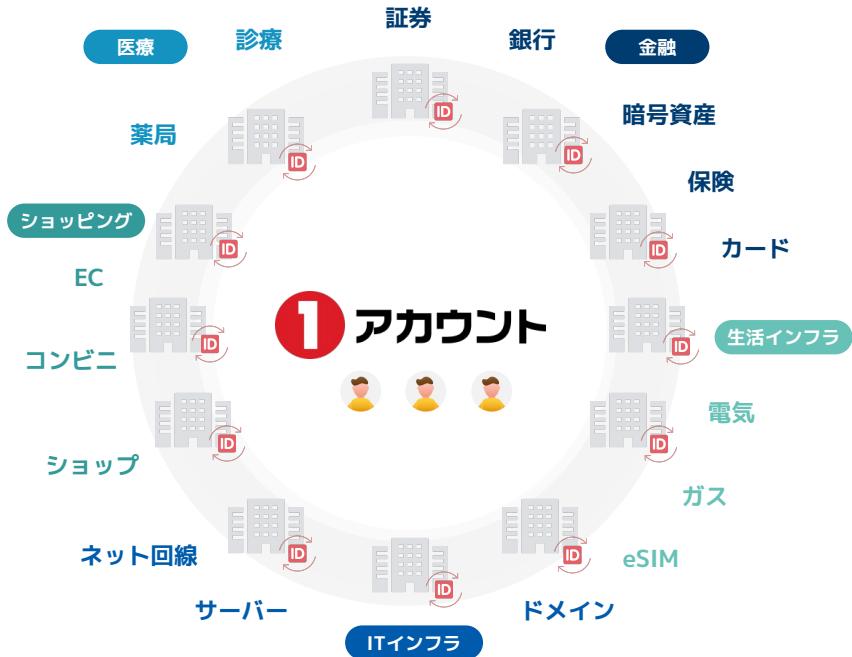
ヘルステックONE
byGMO 1アカウント

新規事業への投資

「安さ」と「利便性」を追求
成長性の高い分野での
新たな価値創造と成長を図る

持続的成長に向けて | 1アカウント起点のエコシステム構築

「1アカウント」のIDが各社サービスのハブとなることで
効率的な顧客獲得と圧倒的に便利なユーザー体験の提供を目指す



あらゆる企業が参加し共創する
"オープンなエコシステム"
連携企業の事業成長を加速させる
No.1のID統合プラットフォーム へ

連携企業は段階的に拡大

GMO INTERNET GROUP

外部企業



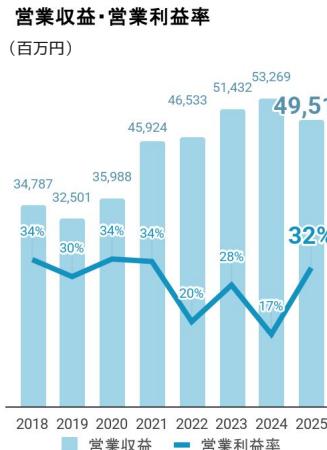
資本コストや株価を意識した経営への対応 | 現状分析・評価

現状認識

- ROEは当社が認識する株主資本コスト8.5%を上回る一方、PERは業界平均を下回る水準で推移
- 資本効率の向上と持続的な成長による企業価値向上を図るとともに、開示内容及び投資家との対話充実を促進

業績・ROE

- 営業利益率30%程度で推移し、収益規模の拡大に伴い、営業利益も伸長
- ROEは、特別損失の計上やタイ証券事業での貸倒引当金繰入額の計上^{※1}など一時的な影響で低下した時期があるものの、概ね当社認識のCAPMに基づく株主資本コスト8.5%^{※2}を上回る水準で推移



市場評価

- PBRは業界平均の1.2倍を大きく上回るものの、PERは業界平均の13.5倍を下回っており、当社の成長性が評価されておらず、このギャップの解消が課題であると認識



※1 2022年12月期は、当社が保有するGMOあおぞらネット銀行株式に係る特別損失計上やタイ証券事業における貸倒金繰入額の計上により最終利益が大きく減少したため、ROEは大きく減少し、PERは大きく上昇
※2 CAPMに基づき、リスクフリーレートは10年国債利回り1.82%、市場リスクプレミアムは6.0%を仮定して算出（リスクフリーレート1.82% + β値1.12 × 市場リスクプレミアム6.0% = 株主資本コスト8.5%）

資本コストや株価を意識した経営への対応 | 目標・取り組み

目標

企業価値向上に向けて資本コスト（8.5%程度）を上回る

ROE 20%以上の安定的達成

取り組み

1 収益力の向上

- 強みある分野におけるマーケットリーダーとしての地位確立と顧客基盤拡大
- グループ会社共通業務の集約・統合による事業運営の効率化・コスト最適化
- 共通ID「1アカウント」を活用したマーケティングの効率化

2 資本配分の最適化

(キャピタル・アロケーション)

- 不採算事業の整理・縮小・撤退
- GMOコイン上場によるグループとしての資金調達力の強化・多様化
- 成長分野/新規分野への投資

3 資本コストの低下

- 成長戦略や財務方針等の開示内容の充実と株式市場との対話の強化
- 最低配当水準としてのDOE（連結株主資本配当率）を導入し、株主還元を安定化

GMOコインの上場準備

外部環境の変化にスピーディに適応し持続的成長を図るため、東京証券取引所への上場準備を推進

国内暗号資産業界の市場規模

口座数は約1,200万口座、利用者預託金残高は5兆円超と市場は拡大



国内暗号資産業界を取り巻く環境変化

金融商品取引法改正による暗号資産の「金融商品」としての位置づけの明確化や、トーケン化資産、ステーブルコインの拡大などにより、今後、業界変化が加速し、新たな金融・投資機会の創出が期待

暗号資産ETFの解禁

税制改正の進展

投資信託への組み入れ

- 個人投資家の裾野拡大や機関投資家の参入など、市場拡大が期待
- サイバーセキュリティやAML対策等の高度化が急務。事業者には利便性だけでなく高い信頼性と透明性が求められ、今後の新たな選別基準に



健全で開かれた暗号資産関連市場の
リーディングカンパニーへ
～暗号資産を預けるなら、GMOコイン～

■ GMOコイン上場の目的

① 社会的信用の向上

株式公開により知名度と社会的信用力を高め、優秀な人材を確保し、今後の市場拡大に対応できる強固な事業基盤を構築

② 資金調達力の向上

資金調達力を強化し、暗号資産ストック型サービスや外国為替FXの強化、成長分野への投資により、持続的な成長を目指す

■ 当社における体制変更（2026年3月19日付）

代表執行役1名体制（高島）
代表執行役2名体制（高島・石村）
→ 石村はGMOコイン社長に専念

※ 株式上場は関係当局の承認が前提です。また、株式上場の準備過程における検討の結果次第では、株式上場を延期する可能性や株式上場をしないといった結論に至る可能性もあります。そのため、現時点では上場予定期間等は未定です。本記載内容は、日本国内外を問わず投資勧誘又はそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 ビジョン・戦略
- 04 Appendix**

Q4'25 (10-12月) | 決算サマリー（前四半期比）

FX・暗号資産収益が減少し、前四半期比で減収減益

(百万円)	Q3'25 (7-9月)	Q4'25 (10-12月)	Q/Q	
			増減額	増減率
営業収益	11,519	11,104	▲414	▲3.6%
純営業収益	10,520	10,041	▲478	▲4.6%
営業利益	3,914	2,175	▲1,738	▲44.4%
経常利益	3,800	2,402	▲1,398	▲36.8%
最終利益	2,698	1,537	▲1,160	▲43.0%

Q4'25 (10-12月) | セグメント別の状況（前四半期比）

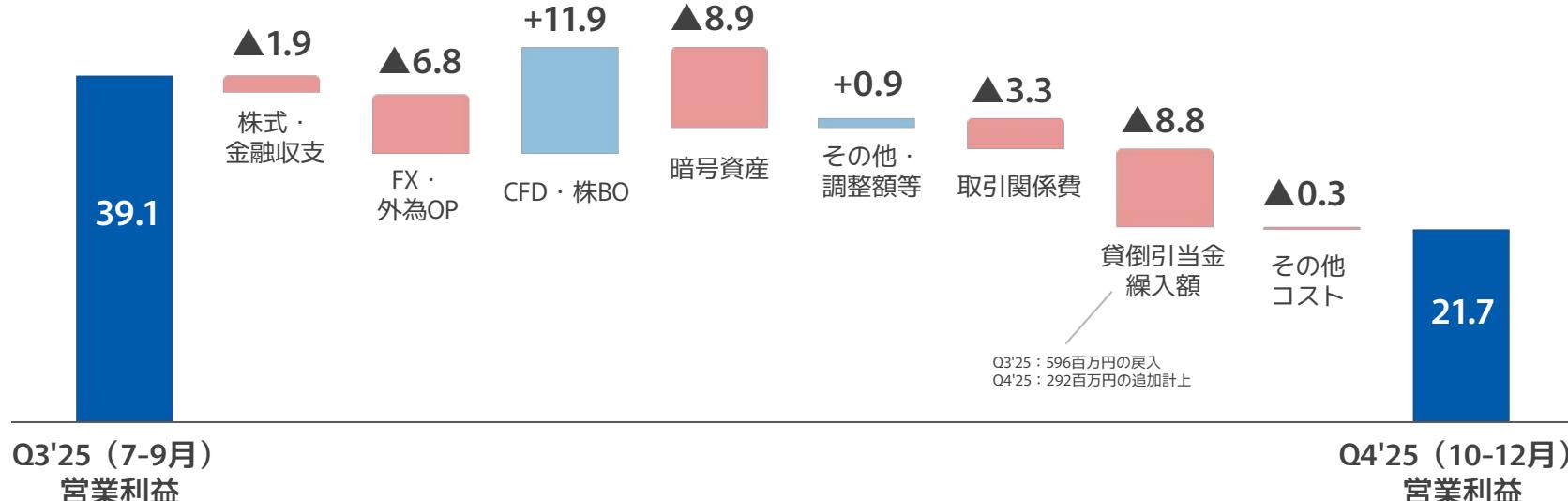
() 内は前四半期比

	Q3'25 (7-9月)	Q4'25 (10-12月)	
（百万円）			
証券・FX事業			
営業収益	8,810	9,196	(+4.4%)
営業利益	3,122	1,884	(▲39.6%)
暗号資産事業			
営業収益	2,044	1,153	(▲43.6%)
営業利益	1,074	555	(▲48.3%)

Q4'25 (10-12月) | 営業利益増減（前四半期比）

CFD収益が大きく回復も、
レンジ相場を受けたFX・暗号資産の収益性低下により減益での着地

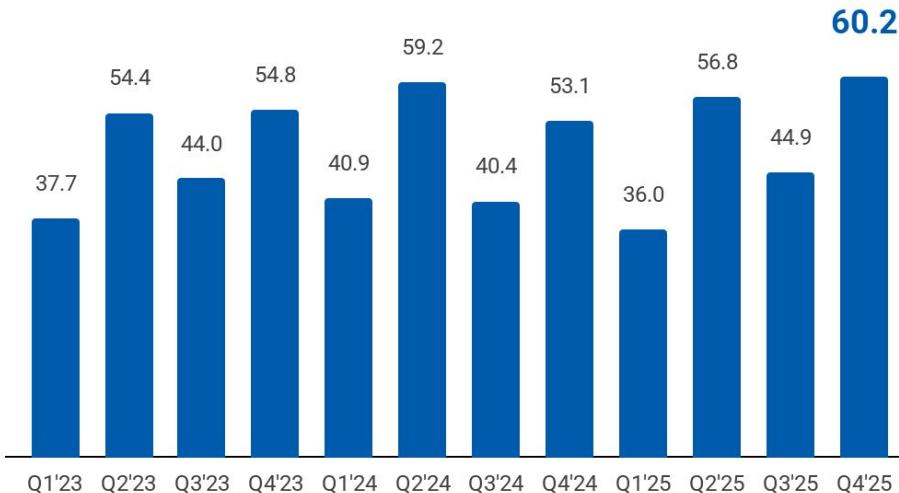
(億円)



国内株式 | 貸株残高の推移

(10億円)

GMOクリック証券



安定的に推移

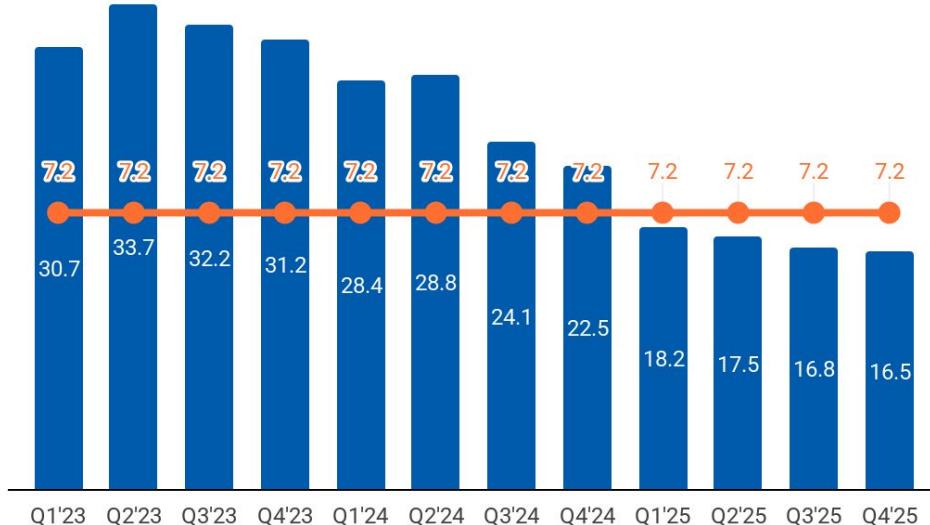
足元 (1/29) は701億円

国内株式 | 証券コネクト口座数・残高の推移

GMOクリック証券

| GMOあおぞらネット銀行

■ 証券コネクト口座残高(10億円) ● 証券コネクト口座数(万口座)



口座数は微減
残高は減少傾向

PLの四半期推移

(単位：百万円)

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
営業収益	12,880	13,266	14,272	12,849	12,977	13,916	11,519	11,104
受入手数料	1,059	1,019	1,180	1,390	1,298	1,048	1,099	864
トレーディング損益	9,715	9,037	10,963	9,416	9,610	10,634	8,022	7,792
金融収益	1,915	1,798	1,498	1,303	1,366	1,555	1,705	1,682
その他の営業収益	96	827	36	38	35	38	27	10
その他の売上高	94	583	593	700	667	640	664	754
金融費用	887	878	860	792	708	725	794	816
売上原価	6	227	205	218	200	233	204	246
純営業収益	11,986	12,161	13,206	11,838	12,067	12,958	10,520	10,041
販売費及び一般管理費	7,633	11,568	9,472	11,591	7,846	7,402	6,606	7,865
営業利益	4,352	592	3,734	246	4,221	5,555	3,914	2,175
営業外収益	32	24	30	62	79	148	▲60	47
営業外費用	223	347	216	▲145	730	219	52	▲179
経常利益	4,161	268	3,548	454	3,569	5,484	3,800	2,402
特別利益	—	—	10	39	5	5	5	▲6
特別損失	310	186	▲172	614	0	41	134	79
税金等調整前四半期純損益	3,851	82	3,730	▲120	3,575	5,448	3,672	2,316
法人税等	1,124	1,371	1,830	▲1,427	1,087	1,827	1,025	820
親会社株主に帰属する四半期純損益	2,800	▲1,241	1,950	1,236	2,504	3,707	2,698	1,537

営業収益（セグメント別/商品別）の四半期推移

(単位：百万円)

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
証券・FX事業	10,877	11,172	12,375	9,364	10,285	11,833	8,810	9,196
株式・ETF等*	360	310	334	271	273	277	228	70
取引所FX・取引所CFD	126	134	171	101	114	96	82	134
通貨関連店頭デリバティブ	5,922	6,375	8,421	5,640	6,703	7,488	5,294	4,609
CFD・株BO	2,484	2,485	1,960	1,984	1,818	2,432	1,478	2,675
金融収益	1,914	1,795	1,493	1,286	1,343	1,513	1,658	1,633
その他	67	70	▲5	78	31	25	67	71
暗号資産事業	1,907	1,510	1,303	2,785	2,024	1,443	2,044	1,153
暗号資産	1,907	1,510	1,303	2,785	2,024	1,443	2,044	1,153
その他	101	588	598	705	670	639	664	754
その他	101	588	598	705	670	639	664	754
調整額	▲5	▲5	▲5	▲5	▲3	—	—	—
調整額	▲5	▲5	▲5	▲5	▲3	—	—	—
営業収益合計	12,880	13,266	14,272	12,849	12,977	13,916	11,519	11,104

*株式・ETF等は、株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料を含む

販売費及び一般管理費の四半期推移

(単位：百万円)

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
取引関係費 (内、広告宣伝費)	3,032	2,865	2,879	4,129	3,200	3,044	2,890	3,229
人件費	1,577	1,504	1,443	2,449	1,693	1,590	1,604	2,139
不動産関係費	1,301	1,079	1,261	1,501	1,268	1,331	1,288	1,269
事務費	1,114	1,022	994	990	1,008	990	977	981
減価償却費	1,003	896	869	952	762	807	775	796
租税公課	601	565	541	539	487	494	505	505
貸倒引当金繰入額	309	320	326	350	367	394	423	440
のれん償却額	3	4,505	2,190	2,833	400	▲9	▲596	292
その他	231	252	252	252	268	267	268	268
販売費及び一般管理費	36	59	156	41	83	79	73	81
	7,633	11,568	9,472	11,591	7,846	7,402	6,606	7,865

セグメント別業績の四半期推移

(単位：百万円)

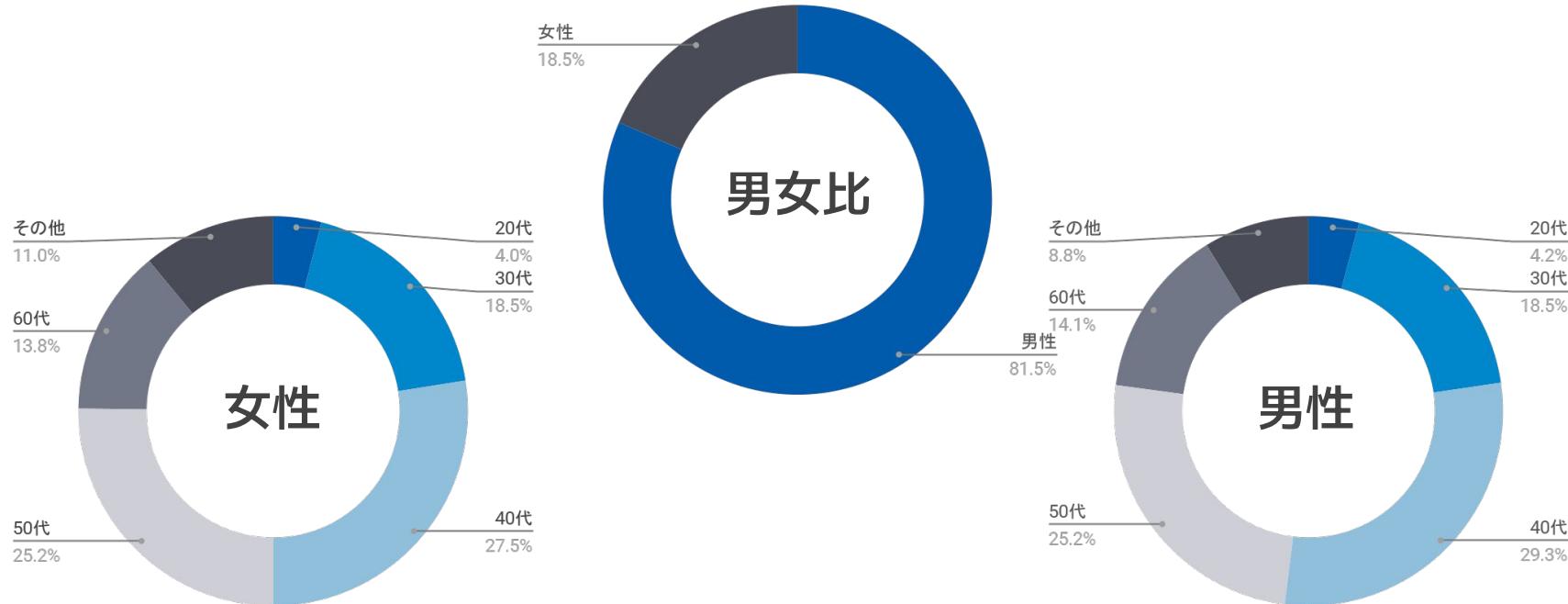
	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
証券・FX事業								
営業収益	10,877	11,172	12,375	9,364	10,285	11,833	8,810	9,196
営業利益	3,512	▲72	3,330	▲1,460	3,246	5,167	3,122	1,884
暗号資産事業								
営業収益	1,907	1,510	1,303	2,785	2,024	1,443	2,044	1,153
営業利益	1,045	694	538	1,684	1,040	576	1,074	555

主要KPIの四半期推移

	FY2024				FY2025			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
GMOクリック証券								
株式								
株式売買代金 (百万円)	3,266,167	2,814,243	2,806,632	2,426,496	2,273,384	2,432,020	2,875,901	3,539,526
株式約定件数 (件)	2,486,545	2,187,834	2,374,381	2,057,810	2,140,688	2,267,087	2,383,117	2,612,778
信用取引残高 (百万円)	125,549	122,173	102,179	106,683	111,825	100,375	104,403	107,495
店頭FX								
店頭FX売買代金 (億円)	4,645,043	4,752,961	7,310,814	6,398,127	6,836,465	6,783,566	5,422,804	5,556,406
店頭FX取引数量 (百万通貨)	3,331,276	3,599,005	5,512,307	4,449,931	4,767,344	4,931,610	3,798,812	3,766,579
店頭FX預り証拠金残高 (百万円)	247,935	258,293	246,725	249,594	255,248	260,573	269,111	268,880
CFD								
CFD売買代金 (億円)	216,248	223,630	285,403	243,044	268,702	357,374	258,978	543,589
全商品								
全商品預り資産 (百万円)	1,095,829	1,087,031	995,982	1,013,021	1,322,817	1,365,045	1,204,131	1,217,022
口座数								
証券取引口座数 (口座)	527,542	530,807	533,329	535,584	539,767	544,173	549,370	556,001
FXネオ取引口座数 (口座)	820,477	829,436	837,066	843,574	850,319	856,646	862,968	870,198
CFD取引口座数 (口座)	203,621	206,424	208,759	210,873	214,413	218,229	222,172	227,393
GMO外貨								
店頭FX売買代金 (億円)	1,528,697	1,380,288	1,940,090	1,371,286	1,575,046	1,525,944	1,239,763	1,370,381
店頭FX取引数量 (百万通貨)	1,105,815	1,063,448	1,557,467	1,058,674	1,192,420	1,195,777	953,623	1,027,467
店頭FX預り証拠金残高 (百万円)	107,248	107,247	101,835	104,098	106,499	108,670	113,010	112,592
取引口座数 (口座)	465,393	469,940	473,737	476,456	479,828	483,237	485,622	487,494
GMOコイン								
暗号資産売買代金 (百万円)	2,728,205	2,266,257	2,448,699	3,714,609	3,870,753	2,366,252	2,598,408	2,868,633
取引口座数 (口座)	626,766	645,076	660,540	695,594	729,806	743,412	761,918	775,971

顧客属性 | GMOクリック証券 – 証券取引口座

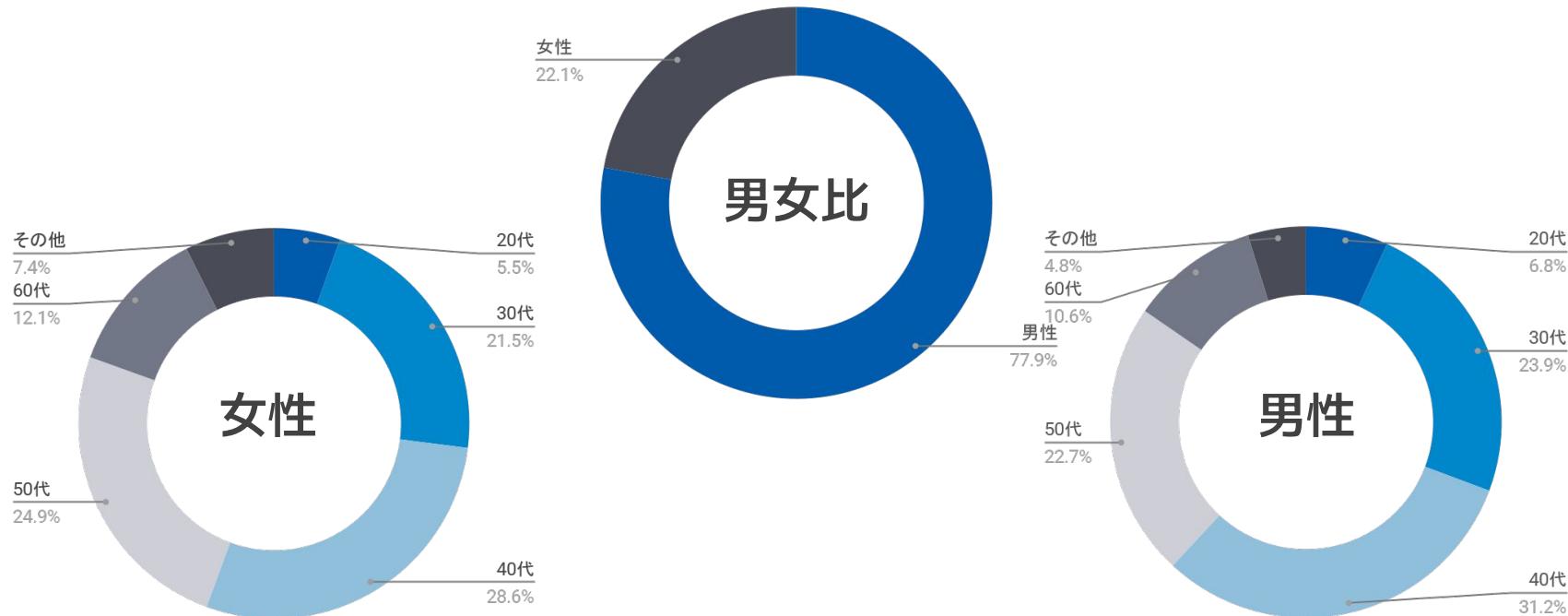
GMOクリック証券



2025年12月31日現在

顧客属性 | GMOクリック証券 – FX専用取引口座

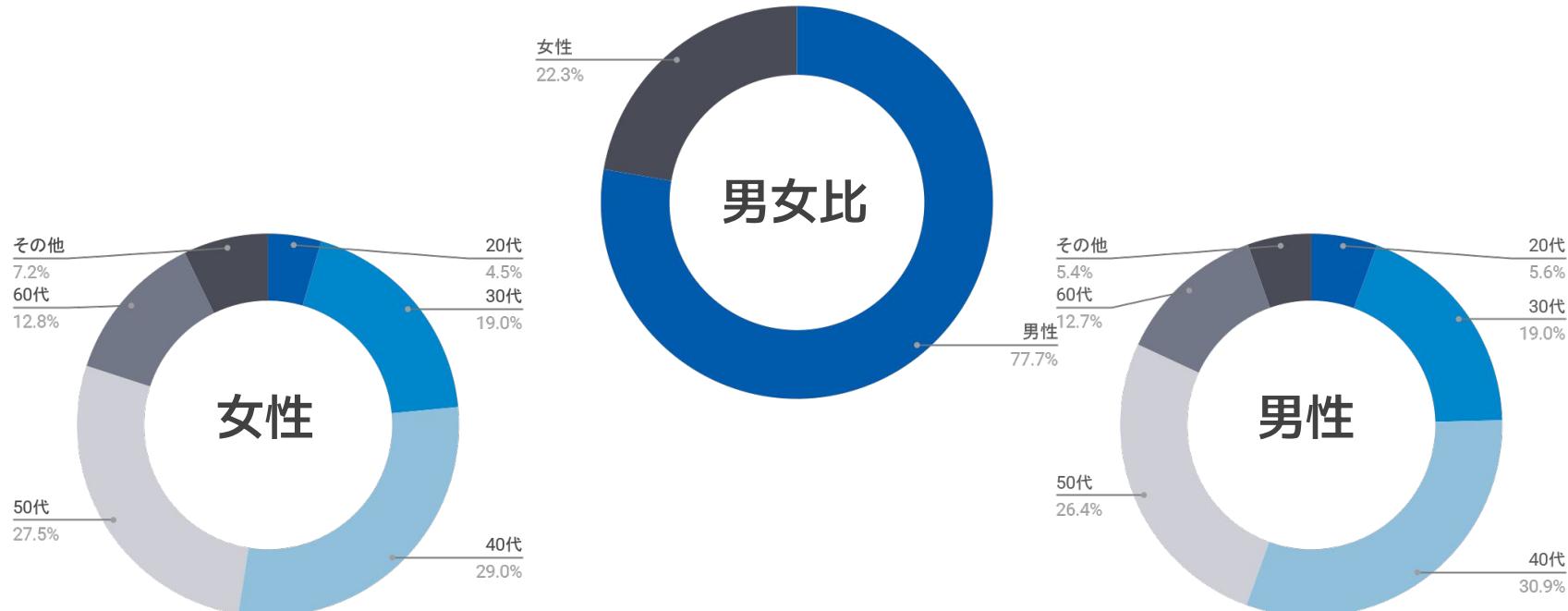
GMOクリック証券



2025年12月31日現在

顧客属性 | GMO外貨

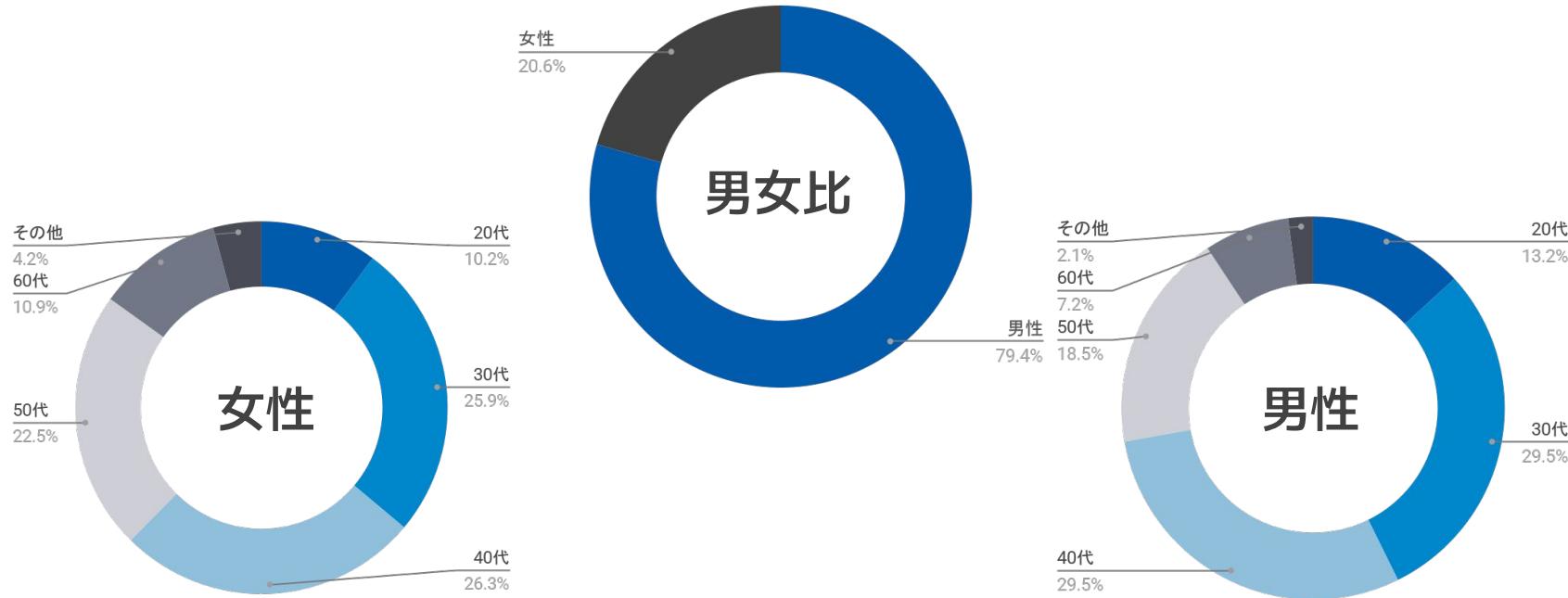
GMO外貨



2025年12月31日現在

顧客属性 | GMOコイン（暗号資産）

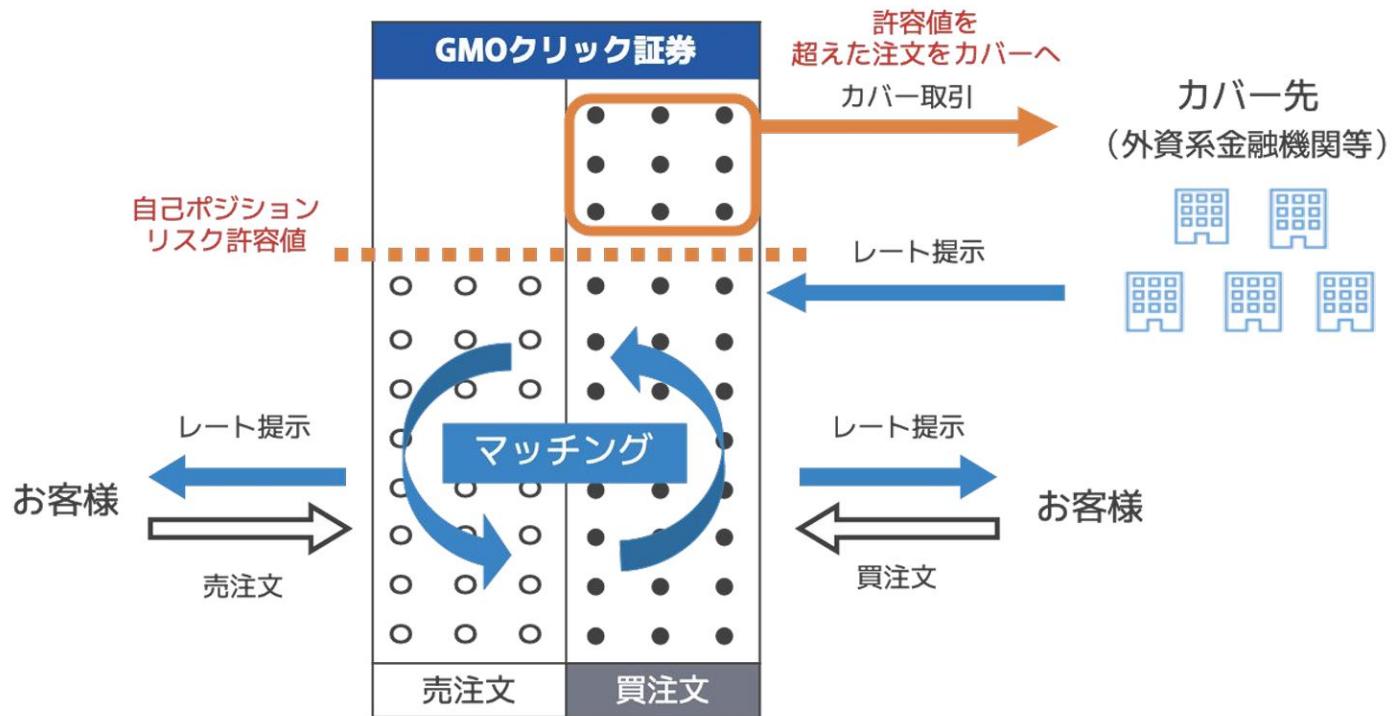
GMOコイン



2025年12月31日現在

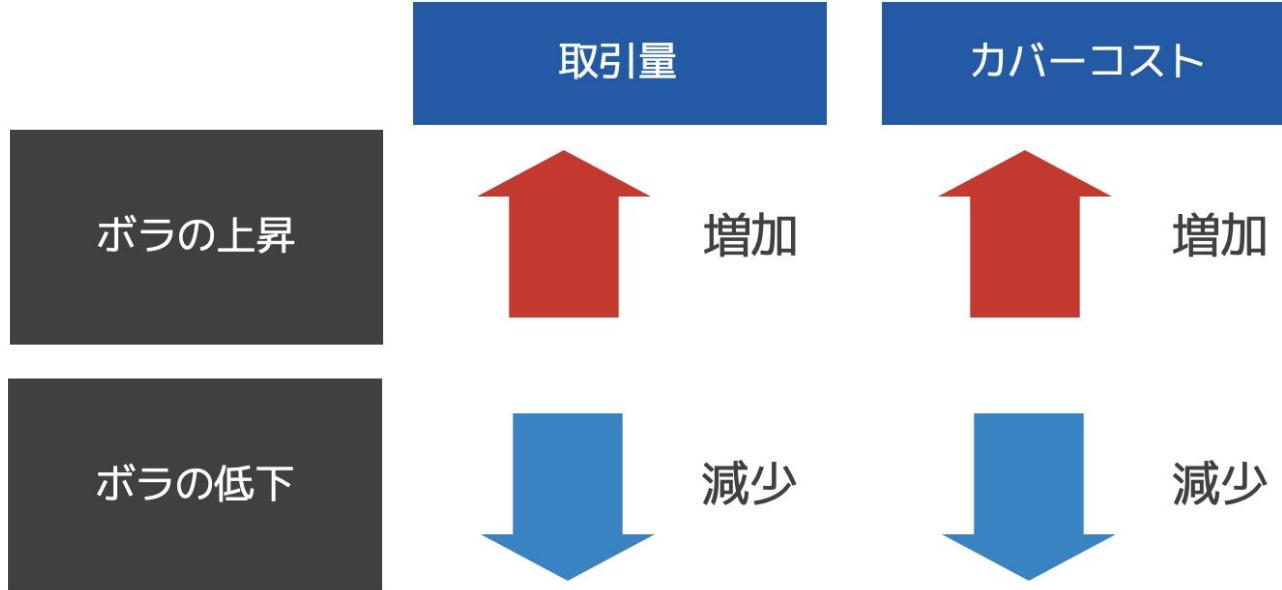
ビジネスモデル | 店頭FX

効率的なマッチングとポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求



店頭FXにおけるボラティリティと収益の関係

収益構造
対顧客取引
(対顧客スプレッド × 取引数量) – (カバースプレッド × カバー数量)



(上記は概念図)

ビジネスモデル | 暗号資産

販売所モデル

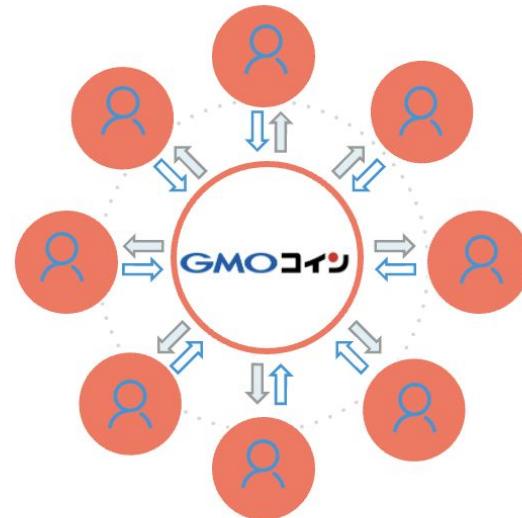
GMOコインが顧客取引の相手方となる取引
保有ポジションはカバー取引でヘッジ



主な収入源：スプレッド（売値と買値の差）

取引所モデル

GMOコインは取引をマッチングする場を提供
顧客の取引毎に手数料を受け取る



主な収入源：取引手数料

免責事項

本資料には、2026年2月4日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動等にかかるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアなどの数値について、一部当社推計値が含まれています。調査機関によって異なる可能性があります。また、本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあるごとにご承知ください。

当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではございません。